



今年も CLT (直交集成板) を用いた建築物の無料 WEB 講習会「実物件から学ぶ CLT 建築講習会」(林野庁補助事業)が始まっています。主催はイントラスト (株) で、来年 3 月末まで好きな時に何回でも視聴可能な、CLT の利用拡大を目的とした講習会です。事例紹介は、各建物のオーナーや設計者等から、CLT 採用の経緯や効果、設計上の配慮点等のお話を伺ったインタビューを編集したものです。私もこの事業の一部に手伝いをしています。昨年まで NPO 法人建築技術支援協会主催でやっていた WEB 講習会の続きのようなものですが、近々 CLT を使う予定はない方や建築を勉強中の学生の方にもご参考になるところがあるかと思えます。ご興味のある方は、次の URL か QR コードから申込んでご視聴ください。

[https://www.koushuukai.com/clt\\_jitsubukken/index.php](https://www.koushuukai.com/clt_jitsubukken/index.php)



予定の講習会は次の通りで、編集済のものから順次配信開始されていきます。

- 事例 1 シネジック(株)本社 (宮城県富谷市) 10 月中旬配信開始
- 事例 2 大林組 Port Plus (神奈川県横浜市) 配信開始予定 11 月上旬
- 事例 3 OLD BOY 野々口ショールーム (岡山県岡山市) 10 月下旬配信開始
- 事例 4 ストローグ(株)本社 (富山県滑川市) 配信開始予定 12 月中旬
- 事例 5 大豊町立大豊学園 (高知県大豊町) 配信開始予定 12 月上旬

今年には 5 つの事例紹介の他、「CLT ガイダンス」として、CLT に関するいろいろな映像や資料を集めたものも視聴可能です。昨年までの CLT の WEB 講習会の映像も含まれていますので、見損なった方やもう一度という方もご覧になれます。

5 つの事例について、概要を紹介します。

**事例 1 シネジック(株)本社** 木造建築用ファスナー(主にビス)の開発と販売を主な事業とする会社の本社ビルで、木造軸組と CLT を組合せたもの(一部鉄骨造、屋根立体トラスにも CLT)で、2 階建て延べ面積 836.39 m<sup>2</sup>。外壁を耐火構造とした準耐火建築物。

**事例 2 大林組 Port Plus** 自社の次世代型研修施設、全ての地上構造部材(柱・梁・床・壁)を木材とした高層純木造耐火建築物。純木造耐火建築物としては国内最高となる高さ 44m (11 階建て)、延べ面積 3,502.87 m<sup>2</sup>。1,990 m<sup>3</sup>の木材を使用(約 1,652t の CO<sub>2</sub> を固定)。令和 4 年度木材利用優良施設等コンクールで国土交通大臣賞受賞。



シネジック(株)本社

**事例3 OLD BOY 野々口ショールーム** 冒頭の写真。クラシックカー専門店のショールームで、CLT パネルと集成材を組合せた構造、平屋建て延べ面積 199.05 m<sup>2</sup>。CLT パネルを壁の他、成の高いR面を持った梁とし、全ての CLT を内外とも現しで仕上げ材としても用いている。

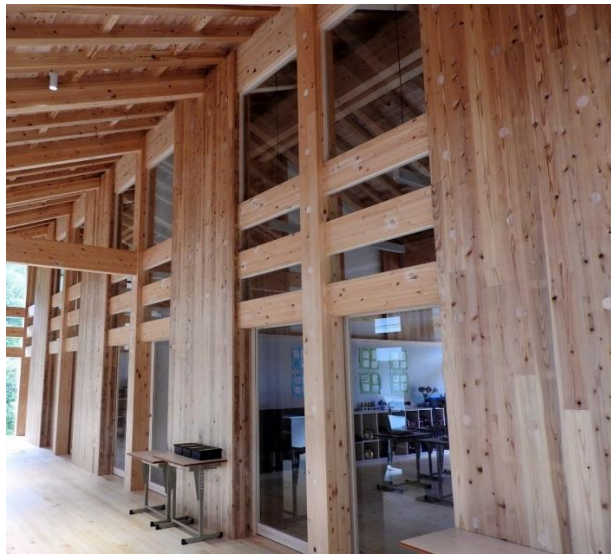
**事例4 ストローグ(株)本社** 木造建築の木材接合部分に用いられるコネクタの開発・製造・販売を主な事業とする会社の2階建て新社屋と平屋建ての新試験棟で、延べ面積 495.8 m<sup>2</sup>。CLT パネルを井桁組したような構造が特徴。



ストローグ(株)本社 井桁組の CLT パネル

**事例5 大豊町立大豊学園** (道草ギャラリーその51でも紹介) 小学校と中学校を統合した義務教育学校で、今年の4月に開校。その

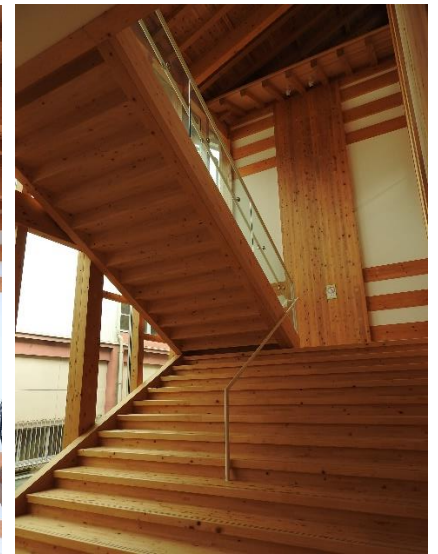
前期課程(1~5年生)の校舎で、2階建て延べ面積 2,517 m<sup>2</sup>。燃え代設計の準耐火建築物。120mm厚 CLT を2枚合わせとし、240mm角集成材合わせ柱とを交互に配して、105×270mm集成材貫3段で固めた独特の構造要素(4mモジュール)。CLT と柱は、2階建て部分も屋根の下まで連続した材が用いられている。CLT の幅は3mを2つ割りしたもの。令和4年度木材利用優良施設等コンクールで文部科学大臣賞受賞。



大豊学園 独特の構造要素



屋根下まで通しの柱と CLT



階段教室のような階段

なお、この講習会に関する問い合わせは、**実物件から学ぶCLT建築講習会事務局 TEL: 0120-117-802** へ。

< **グーグル地図参照** >

**シネジック(株)本社** <https://www.google.com/maps/@38.3627998,140.8948411,19.1z>

**大林組 Port Plus** <https://www.google.com/maps/@35.447405,139.6395979,19.1z>

**OLD BOY 野々口ショールーム** <https://www.google.com/maps/@34.7686036,133.9308702,19.96z>

**ストローグ(株)本社** <https://www.google.com/maps/@36.7566057,137.3911108,19.35z>

**大豊町立大豊学園** <https://www.google.co.jp/maps/@33.7535599,133.6644237,17.31z>

上の URL は、下の「PDF はこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

今年初めて事例5取材の出張で飛行機を利用しました。高知空港で搭乗待ち時間に屋上の送迎デッキから、滑走路向こうの集落に幾つもの津波避難タワーがあることを確認しました。高知県は以前から耐震改修にも力が入っていますが、津波対策も進んでいるなと思いました。10月4日にJアラートが発せられ、ミサイルが日本列島を飛び越えました。今後は建築の仕事としても、地下室や耐爆風性能を考慮する必要性が増加するのかも知れません。道草ギャラリーその59で紹介しました大子町新庁舎が、令和4年度木材利用優良施設等コンクールで優秀賞を受賞しました。(2022.11.01)